

2009年7月15日

各位

住友信託銀行株式会社

中国資本市場における適格外国機関投資家(QFII)ライセンス取得について

住友信託銀行株式会社(取締役社長;常陰 均)は、今般、中華人民共和国証券監督管理委員会から、日本の銀行としては初めてとなる適格外国機関投資家(Qualified Foreign Institutional Investors、通称;QFII)のライセンス認可を取得いたしました。

QFII 制度は、運用経験や運用体制、資産規模など一定の条件を満たし、中国証券監督管理委員会の認可を受けた海外の金融機関に中国株式市場への投資を認める制度です。QFII には銀行、証券会社、投資信託会社、保険会社およびその他の資産管理機関が申請することが可能であり、2009年6月末現在、QFII は全世界で85機関となっております。

今後、中国国家外貨管理局から運用枠の認可を受けた際には、中国本土の上海証券取引所、深セン証券取引所に上場される人民元建ての中国 A 株への投資が可能となります。

当社は今回の QFII ライセンス取得によって、日本株 SRI(社会的責任投資)で培った調査・運用経験を活かし、国内投資家向けに中国株 SRI ファンドの商品化を進めてまいります。当該商品は中国上場企業に対する本格的なアンケート調査に基づくものであり、世界的にも極めて斬新な取り組みです。中国の成長と CSR(企業の社会的責任)に取り組む中国企業への投資機会を日本の投資家に提供することにより、アジア経済を支える中国と日本の持続可能な成長を後押ししていきたいと考えております。

当社は、日本の信託銀行としては唯一中国国内に支店を擁し、銀行業務を行っているほか、現地法人では日系企業向けの年金コンサルティング、コーポレートアドバイザー及び省エネコンサルティングを行っております。今回の QFII ライセンスの取得は、当社の中国本土におけるアセットマネジメントビジネスの第一歩と考えており、今後とも当社のノウハウを活かし、新たなマーケットでのチャレンジによって業務拡大を図ってまいります。

以上